

知っていますか？千葉県伝統的な「大凧あげ」

～「かずさの国 凧あげフェスタ」動画配信のお知らせ～

千葉県の伝統的な大凧あげ習俗を多くの皆さまに知っていただくため、例年5月に「かずさの国 凧あげフェスタ」が開催されてきました。本年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、オンライン開催として、大凧あげを紹介する動画を配信します。ぜひ、千葉県の伝統文化をご覧ください！

★千葉県の上総地方に伝わる「大凧あげ」とは？

千葉県の上総地方では、端午の節句に初節句を迎える子供の成長を願って「大凧あげ」をするならわしがあります。「関東の大凧揚げ習俗」として、国の記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財にも選択されています。

★どんな種類の凧があるの？

伝統的な凧の形は、主に3種類です。

動画では、凧の作り方、凧あげの様子も紹介します。

①袖凧（そでだこ）

トンビ凧、上総トンビなどとも呼ばれ、漁師の着物（半纏、マイワイ）がモデルという説があります。家紋や子供の名前、金太郎等の絵が描かれます。千葉県独自の凧で、上総地方の広い地域で見られます。

②唐人凧（とうじんだこ）

大陸起源の凧で長崎から富津市付近に原型が伝わり、千葉県独自の形になって、江戸時代からあげられたと伝わります。ハチのような形で、家紋等が描かれ、主に、富津市や君津市で見られます。

③角凧（かくだこ）

江戸時代後期に江戸から伝わったとされる四角い凧で、金太郎等が描かれます。東京湾沿いで見られます。

★動画は、どこで見られるの？ ※3月下旬公開予定

ちばの文化財紹介チャンネル で検索！

<https://m.youtube.com/channel/>

※短編（約5分）と長編（約40分）です。

制作：かずさの国 凧あげフェスタ 実行委員会

（千葉県教育委員会、袖ヶ浦市郷土博物館、袖ヶ浦市凧保存会、上総本納凧保存会、日本凧の会千葉県支部）

お問い合わせ先：千葉県教育庁教育振興部文化財課

電話：043（223）4082



袖凧



唐人凧と角凧



凧の工房での撮影風景